

戸田康之さん『池を作ると』(5月18日配信分)

戸田です。サインネームではこのように表します。よろしく。

今日は、池について話をします。

今、私はろう学校に勤めています。幼稚部で、毎日3歳から5歳の子どもたちの相手をしています。ろう学校の子どもたちは、外に出ると虫が大好きです。チョウやトンボ、テントウムシを見つけては虫捕りをするのが大好きなんです。

ろう学校の幼稚部の庭に、以前は池がありませんでした。池が欲しいな、池があればカエルや魚などの生き物が見られると思っていたので、思い切って自分で池を作ることになりました。畑だった場所に1日かかりで穴を掘り、適当な深さに掘ったところで底にブルーシートを敷き、水を溜めました。底に少し土を敷き詰めて草も入れ、なかなかいい池が完成しました。

でも、作ったばかりの時は、まだ生き物はいませんでした。それが、数か月が経って池を見てみると、生き物がいたんです。アメンボが水面を動いているのを見つけて子どもたちは大喜びです。他にはオタマジャクシもいました。おそらく、カエルがどこからかやってきて池に卵を産み付け、その卵がかえたのでしょう。たくさんのオタマジャクシが池を泳いでいました。子どもたちもオタマジャクシを見つけては大喜びで採っていました。トンボの幼虫のヤゴもいました。小さかったヤゴがだんだん大きくなって草をよじ登り、朝トンボに羽化する様子を子どもたちは観察することができました。

いちばんびっくりしたのは、メダカがいたことです。別の場所から移動して来ることでもできませんし、私が池に放したわけでもありません。どうしてメダカがいるのか不思議でなりませんでした。今はどんどん数が増えて数十匹というメダカが池を泳いでいます。不思議だなと思いますが、たくさんの生き物を見ることができるようになり、子どもたちはとても喜んでいました。作った甲斐がありました。